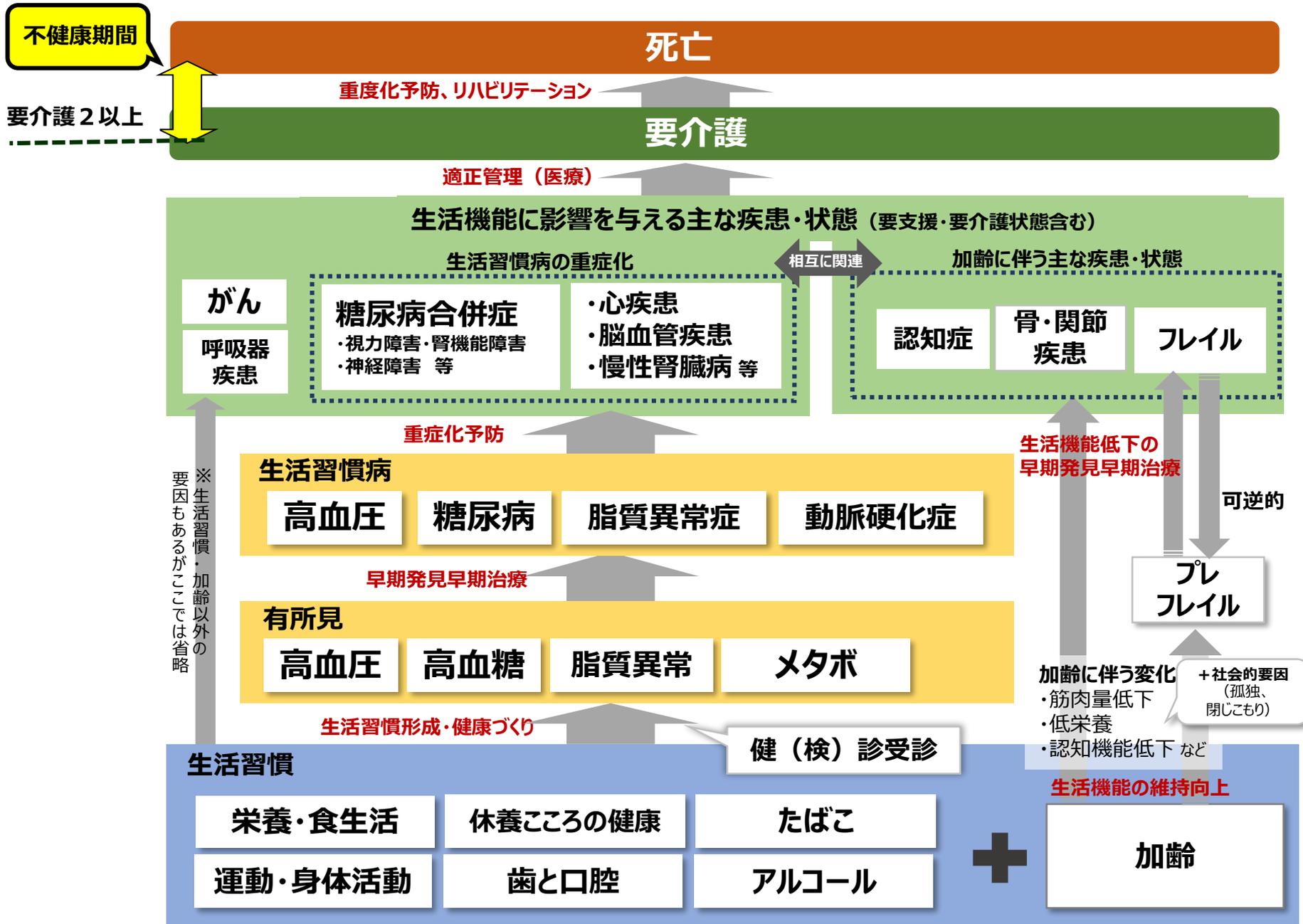


分野別取組の基本的な考え方

1 生活習慣が起因する疾患の関連図



2 健康すいた21（第3次）の視点整理



次世代



就労世代



高齢世代

めざす
ところ

**「生活習慣の
形成・継続」**

・子供の健やかな発育
・よりよい生活習慣の形成と継続

**「生活習慣病予防
・重症化予防」**

循環器病や糖尿病等の
発症予防・重症化予防

「生活機能の維持」

・フレイル状態にならない
・認知症になるのを遅らせる
・できる限り要介護状態にならない
・要介護状態を更に悪化させない

三次予防

合併症予防・リハビリテーション

合併症予防
リハビリテーション

要介護状態の改善・
重度化予防・疾病管理

二次予防

早期発見・早期治療

早期発見・早期治療
適正管理・重症化予防

生活機能低下の
早期発見・早期治療

一次予防

生活習慣形成・
継続（健康づくり）

健康づくり

生活機能の維持・向上

ゼロ次
予防

健康づくりの行動を助けるための環境づくり
＝「暮らし」にとけこむ健康づくりの推進

第3次計画より
新たに取り入れ
る視点

3 分野別取組の考え方

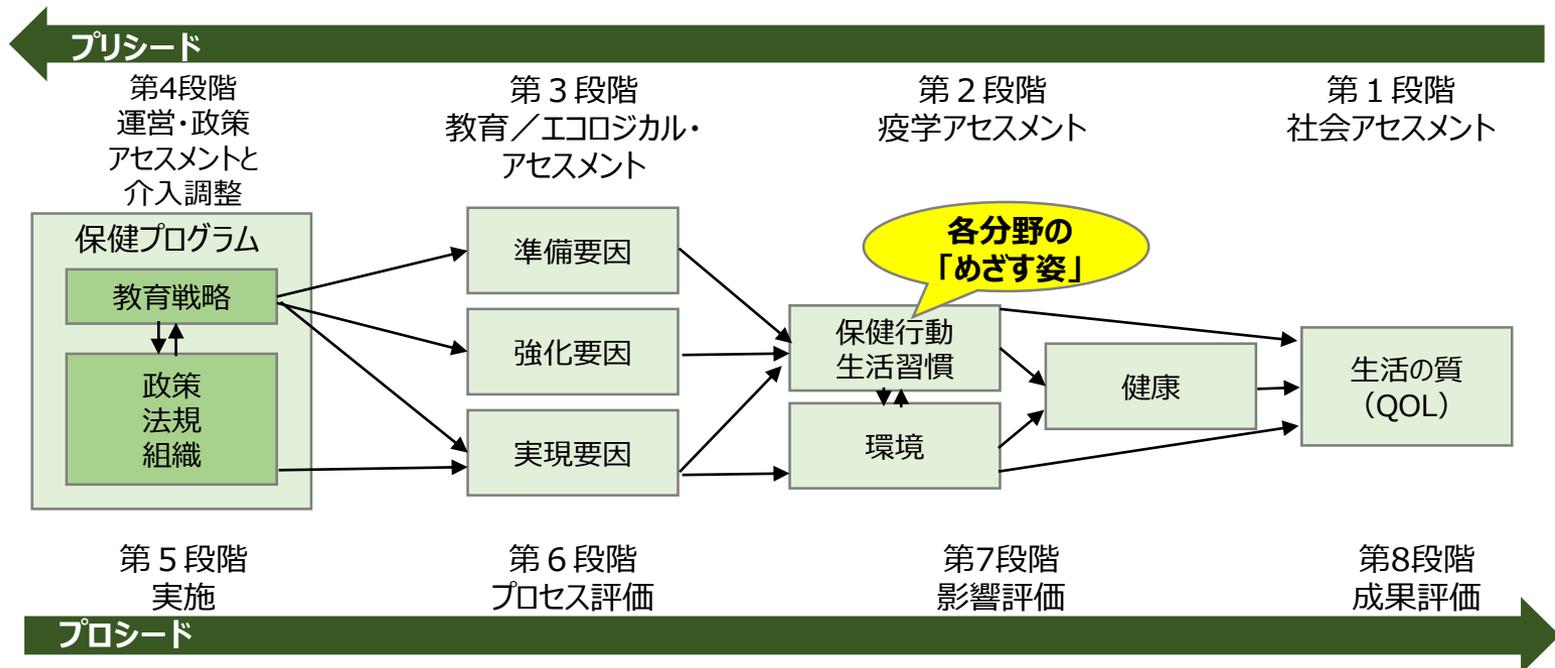
(庁内) 関係室課の実務担当者で構成するプロジェクトチーム会議で検討

※構成室課一覧については、事前配布資料参照

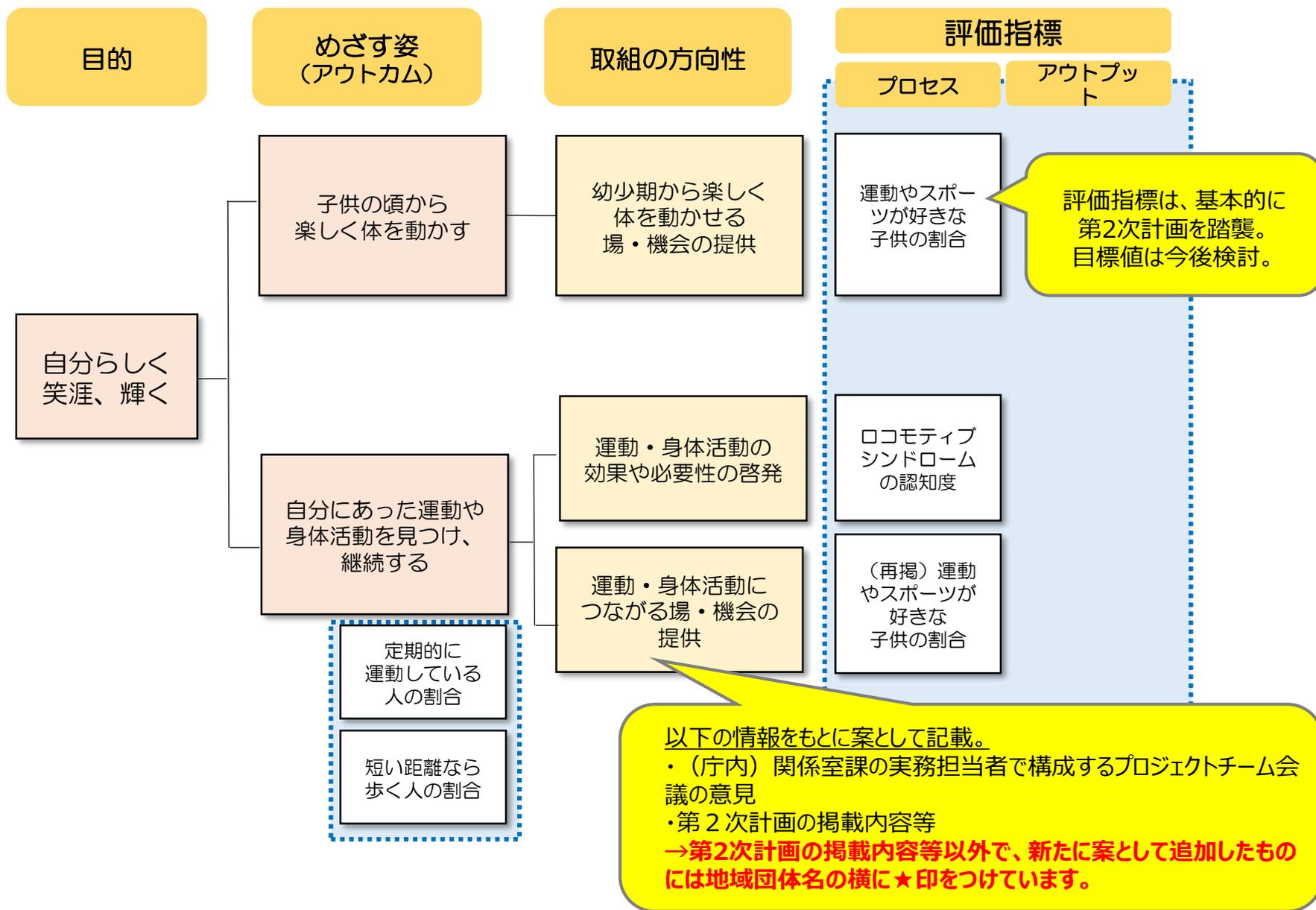
各分野で望ましい生活習慣を達成するために必要な取組を整理

※プリシード・プロシードモデル

ヘルスプロモーション活動を展開するモデル。QOLを最上位におき、その資源として健康を位置付ける。健康を支えるものとして、環境や教育の考えがある。



3 分野別取組の考え方 例：運動・身体活動



4 第3次計画に新たに取り入れる視点

- (1) 「暮らし」にとけこむ健康づくりの推進
- (2) アフターコロナを踏まえた人々の健康意識・生活様式の変化
- (3) 中核市移行に伴う、より身近な保健施策の展開
- (4) 次世代の健康づくりの支援充実

